

	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△							△				
△							△				
適用規格											
定格	使用温度範囲		-55℃～+125℃ (RH95% MAX)			保存温度範囲		-55℃～+125℃ (RH95% MAX)			
	電力		50/√f (GHz) W [参考]			特性インピーダンス		50Ω (0～18 GHz)			
	特殊性		防滴型			適合ケーブル		RG-402 (0.141インチミリジットケーブル)			
性能											
	項目		試験方法			規格		QT	AT		
構造	外観、構造、仕上げ		目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。		○	○		
	表示		目視にて確認する。					○	○		
電気的 性能	接触抵抗		100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。			中心コネクタ mΩ以下 外部コネクタ 4 mΩ以下		—	—	○	○
	絶縁抵抗		DC 500Vで測定する。			5000 MΩ以上		○	○		
	耐電圧		AC 1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)			せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	○		
	電圧定在波比		周波数 0.045～18 GHzにて測定する。			VSWR 1.05+0.01f 以下 (f:GHz)		○	—		
	挿入損失		周波数 0.045～18 GHzにて測定する。			0.05+0.01f dB以下 (f:GHz)		○	—		
機械的 性能	単体挿抜力		の鋼製ピンで測定する。			差込力 N以下 引抜力 N以上		—	—	—	—
	総合挿抜力		適合コネクタで測定する。			差込力 N以下 引抜力 N以上		—	—	—	—
	繰返し動作		1000回の抜き差しを行う。			① 接触抵抗: 中心コネクタ mΩ以下 外部コネクタ 6mΩ以下 ② 破壊、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐振性		周波数 10～2000 Hz、片振幅 0.75 mm、 加速度 196 m/s ² で3軸方向各4サイクル 試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破壊、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	耐衝撃性		加速度 1960 m/s ² 、持続時間 6 ms、 正弦半波 3軸方向各3回試験する。					○	—		
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度		98 N以下の引張力をケーブル軸に加える。			① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破壊がないこと。		○	—		
	温湿度サイクルの 耐湿性		温度 ～℃、湿度 ～%中に サイクル(時間) 放置する。			① 絶縁抵抗: MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上(乾燥時) ③ 破壊、ひび、部品のゆるみがないこと。		—	—		
環境的 性能	温度サイクル		温度 -65 → — → +125 → —℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3分 を5サイクル試験する。			破壊、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—		
	塩水噴霧		濃度 5%の塩水、48時間放置する。			はなはだしい腐食がないこと。		○	—		
備考											
						製図	担当	検図	承認	出図	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目											
HRS		ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表		製品名 HRM-101S (09)				
IBCL CL		図番 SLC4-007291-09			製品コード CL323-0153-0-09			1 1			